

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立川上小学校
-----	-----------

1 前年度 評価結果の概要	<p>児童の笑顔に応じ、教員が教材研究等を工夫改善しながら取り組んでいることで、児童も授業に意欲的に取り組むことができ、授業が「わかる」と感じている児童も増えてきている。さらに、子どもが学びの主体となって主体的に学習に取り組むことができるよう、教材開発や立ての工夫を図っていく。一方、熱心に職務に励むことで、時間外勤務も増加傾向にあることから、職員健康保持等のためにも、授業においてICT等を効果的に活用することにより、働き方改革の推進を図っていく。</p> <p>・いじめや問題行動に対し、チームでの組織的な対応を行ったことで、大事にいたることはなかった。今後も「報道相」を言葉に、組織的な対応を心掛け、児童が安全・安心な生活を送ることができる学校づくりに努めていく。</p> <p>・人権総合学習だけでなく、人権教育の視点を授業に取り入れるなど、人権を意識した学校づくりに取り組んだことで、友達だけでなく自分の良さに気づく児童も増えてきた。お互いを尊重する態度を養うことを通し、さらに自信をもって自分のことが「好き」と言える児童が増えるよう、さらに自己肯定感を高める取り組みの実践に努めていく。</p>
------------------	---

2 学校教育目標	<p>みんなが笑顔の楽しい川上 「自分大好き 友だち大好き 川上大好き」 な児童の育成</p>
----------	---

3 本年度の重点目標	<p>1 基礎基本の定着と学ぶ意欲の向上</p> <p>2 自他のいのちを大切にできる子どもの育成</p> <p>3 多様性が当たり前となる学校生活の実現</p> <p>4 夢や目標をもち、学び続けることができる子どもの育成</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1)共通評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基礎・基本の学力定着</li> <li>○主体的な学び・対話的な学びのある授業の工夫改善と学ぶ意欲の向上</li> <li>○学習環境の整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各学年、市販テストの正答率が90%以上。</li> <li>○「自分の課題解決に向けて、最後まで取り組む」と答えた児童80%以上。</li> <li>○三側面(物理的・人的・文化的)からの環境整備を意識している教員80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科において、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるための反復指導</li> <li>・「見直し」と「振り返り」のある授業、表現力を育成するための「伝える・伝え合う」時間の確保。</li> <li>・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた環境整備</li> </ul>						
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「たてわり活動」や「異学年交流学習」について肯定的な回答をした児童80%以上</li> <li>○学級や学校に対して肯定的な回答をした児童80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年、授業参観で「ふれあい道徳」の実施や、家庭道徳の取組など、家庭と連携して、道徳的価値の意義や意味などについて共有させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。</li> <li>・あおば活動や異学年交流活動の設定の工夫</li> <li>・人権総合学習を中心に据えた人権教育やいじめ命を考える日の取組の工夫。「ほかほかの木、ほかほか放送」</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための取組、事後対応等)について、組織的対応ができていると思う教職員90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導協議会を中心に、気になる児童やいじめについての共通理解を毎月実施。</li> <li>・定期的なアンケートの実施。</li> <li>・Q-Uテストの実施と、結果の分析・学級経営のための研修会の実施。</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「先生はあなたのよいところを認めてくれる」と回答した児童生徒90%以上</li> <li>●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童生徒90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の作品やノート等、日々の成長や頑張りを賞賛・価値づけするコメント記入。</li> <li>・キャリアパスポートと連動させた毎学期の目標設定や自己の成長の振り返りによる、児童一人一人の自尊感情の醸成。</li> <li>・自治的活動の充実</li> </ul>						
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>②「望ましい生活習慣の形成」</li> <li>○あいさつ、返事</li> <li>○礼儀正しい言葉遣い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「自分から誰にでもあいさつをしている」「名前を呼ばれたら返事をしている」「礼儀正しい言葉遣いをする」ことができる児童80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の率先垂範と全職員による徹底指導</li> <li>・挨拶がよくなってきている児童を「ほめほめカード」により放送で紹介。</li> <li>・生活のめあてと連携し、礼儀正しい言葉遣いについて、月1回の生徒指導協議会で共通理解を図る。</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日歩いて登校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の足で歩いて登下校している児童95%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者への歩育の推奨とPTAへの周知</li> </ul>						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定の教職員に業務が集中しないようマネジメントを行う。</li> <li>・定時退勤日を設定する。</li> <li>・稼業日であっても、年次休暇を取得しやすいよう、休暇取得を推奨する。</li> <li>・長期休業中に7日以上連続休暇を取得できるよう、研修等の調整を行う。</li> </ul>						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働きやすい職場環境づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「本校職員室は雰囲気がよく働きやすい」「管理職や同僚に相談しやすい」職員90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材活用やICT活用、複数担任制等による業務改善</li> <li>・学年ブロックでの報道相の徹底を図り、相談しやすい雰囲気づくりに努める。</li> <li>・職員レクの実施</li> </ul>						
●特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相談体制・支援体制の充実</li> <li>○教育のUD化</li> <li>○専門性の向上と外部連携の深化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「特別支援教育についての専門性が向上した」「特別支援学級児童や気になる児童への対応力が向上した」教職員90%以上</li> <li>○外部専門家・専門機関との連携10回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員参加の職員研修の実施。</li> <li>・気になる児童について、毎月情報共有の場を設定。</li> <li>・関係機関との連携の充実</li> </ul>						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目									
評価項目	重点取組		具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言
○人権・同和教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自他を大切にできる態度を養う。</li> <li>○互いの良さや違いを認め合い、共に生きる力を育てる。(多様性の理解)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分のことが好きだと言える」児童85%以上</li> <li>・「友だちはあなたのことを認めてくれる」と回答した児童80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳や学級活動において、命や友達をテーマにした題材を活用し、自尊感情や他者理解を深める。</li> <li>・自己存在感の実感のために、「名前＋承認の言葉」の実践。</li> </ul>						
○コミュニティ・スクールの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域と協働した学校運営の充実</li> <li>・行事における連携</li> <li>・学習支援、特別活動への参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校行事等における地域の方々との連携率を90%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年、地域との協働による教育活動を実施する。</li> <li>・年間行事について、年度当初に共通理解を図る。</li> </ul>						

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育	
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>